

満開の桜に芽吹き始めた木々。自然界はいつもと変わらない春の装いですが、人間界では世界的な新型コロナウイルス感染拡大で不安のつきない日々が続いています。でも新年度を迎え、気持ち新たに、またみんなで気兼ねなく集い、様々な活動ができるようになる日まで頑張っていきましょう！

2012年から書き始めたこの「しばたキッズニュース」も今月で100号になりました。ささやかではありますが、皆さまのお役に立てるような話題を提供できればと、これからも頑張っていきたいと思えます！



### 新型コロナウイルス感染症 Part 3

3月半ばから茨城県内でも新型コロナウイルス感染者が出始め、月末にはこの地域の中核病院での院内感染発生、志村けんさんの訃報と、ヒタヒタと感染が広まっていると感じます。

ヨーロッパやアメリカでは感染爆発し、今後はアフリカ諸国においても感染拡大が懸念されます。もうウイルスを封じ込められる段階ではなくなり、このウイルスと人類との闘いは長期化することでしょう。4月から新学期で久々の学校生活が始まりますが、近隣で感染者が相次ぐようになると再び休校措置もあり得ます。報道でもさんざん言われている**3密＝密閉・密集・密接**（今、ニュースでこれを**むんむん・ぎゅうぎゅう・がやがや**と言っていました）を避けるように一人一人が気をつけ、手洗いや消毒といった基本を毎日続けるしかありません。

しかし、ずっと家に閉じこもってばかりでは大人も子供も気分が滅入ってしまいます。幸い近くには広々とした公園があちこちにあります。現時点ではお天気のいい日に家の周りを散歩したり、人の少ない公園等で遊んだりするのは大丈夫でしょう！そして帰ったら手洗い！家の中でも体を動かしたり、気分転換をはかりながら楽しく過ごせる工夫をして何とか乗り越えましょう。（ジムに行けなくなった私は、家でリングフィット アドベンチャーやっています～！）

### 地域の夜間・休日診療体制

これまで水曜日は総合守谷第一病院、それ以外の曜日はJAとりで総合医療センターがこの地域の小児救急を担ってきましたが、4月から日曜の8:00～18:00は総合守谷第一病院が担当となりました。と言っても、これは「二次救急」が本来の目的で、救急車の受け入れ・入院等に対応するためのものです。どちらの病院も少ない小児科医の数で当番をしています。風邪症状や熱があっても元気な場合などはできるだけ夜間・休日の受診は控えましょう。

**（JA とり総合医療センターは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月中旬まで救急も含めて外来全てを停止中）**

### 診療報酬改定について

4月から診療報酬が改訂されます。多くの小児科クリニックで採用している「小児科外来診療料」が、これまで3歳未満が対象であったものが、6歳未満までに拡張されました。これは、6歳未満は診察・検査・処置・処方箋料等すべて含めて一定の初診料・再診料を算定するものです。皆様の窓口支払いは、医療福祉費支給制度（マル福）によりそれほど大きな変化はありませんが、3歳～6歳未満の再診時等に自己負担がこれまでより上がる場合があります。

また、「抗菌薬適正使用支援加算」として、上気道炎や胃腸炎で抗菌薬が不要と判断した場合、その旨を説明し、初診時に加算させていただきます。

当院では今の所「小児かかりつけ診療料」は算定していませんが、健診や予防接種の計画や説明、急性・慢性疾患の治療・指導等、どのお子様にも「かかりつけ医」として接しております。お気軽に受診・ご相談下さい。

### 感染症流行状況

休校措置と外出を控える世の中の動きにより、インフルエンザはじめ諸々の感染症が流行する機会が減りました。

感染症	人数（人）
溶連菌	16
アデノウイルス	4
RSウイルス	0
ロタウイルス	0
マイコプラズマ	3
インフルエンザA	0
インフルエンザB	4
ヒトメタニューモウイルス	6

(2020. 3. 2～3. 28)

### 今月の一冊

#### 「なまえのないねこ」

文：竹下文子

絵：町田尚子

商店街で暮らす1ぴきの野良猫には名前がありません。八百屋や書店、パン屋、そば屋などの飼い猫たちがみんなも持っている「名前」に憧れています。ある日、お寺の猫に「自分で名前をつけられたいじゃない」と言われ、街をさまよいながら名前を探す野良猫が見つけた「本当に欲しかったもの」とは…？ 猫のイラストが本物そっくりでかわいらしい絵本です。（T.K.）



### 今月の予定

4月17日（金）守谷市1歳6か月児健診→中止

23日（木）常総市1歳6か月児健診